

演奏会のあれこれ

演奏会

演奏会（えんそうかい、英: concert コンサート、英: recital リサイタル）とは、専ら音楽そのものを聞きにくる聴衆をターゲットとして音楽を演奏するイベント。ポピュラー音楽においては専ら、ライブあるいはライヴ（LIVE）とも呼ばれている。生演奏でなくても、「フィルムコンサート」「ビデオコンサート」というように使われる場合もある。

音楽の演奏を含む物であっても、オペラ、バレエ、ミュージカル等のように、演劇や踊りの付属物、伴奏としての性格が強い場合や、パーティなどで、余興、BGM として演奏される場合は、演奏会とはみなさない場合が多い。

コンサートとリサイタルの使い分け

コンサートとリサイタルの使い分けであるが、もともとは、1名又はごく少人数の演奏会の場合にリサイタルを、楽団など大人数の場合にコンサートを使っていた。例えば、リサイタルは、「アンネ＝ソフィー・ムター ヴァイオリンリサイタル」「マリア・カラス ソプラノリサイタル」というように使い、コンサートは「オペラ・ガラ・コンサート」のように使う。

演奏会に関連する用語

定期演奏会

オーケストラ、吹奏楽団、合唱団など常設の演奏団体が、自ら主催し定期的を開催する演奏会を定期演奏会、あるいは予約演奏会という。シーズンを通じて一括して演奏会の入場券を予約できる権利が設定されていることが多く、そのような権利を購入した者を定期会員と称する。

演奏旅行

「コンサートツアー」あるいは「ツアー」とも言う。演奏者が普段活動している地域を離れて、各地を巡回し演奏会の興行を行う。ポピュラー・ミュージックの分野においては、イベンターやプロモーターとレコード会社、所属事務所が協力して、大規模なツアーが組まれることが多い。近年の音楽業界では重要な収入源となっている。

演奏会形式

オペラなどにおいて、通常のオペラの公演とは異なり、舞台装置などの演劇上の演出をせず、舞台上にオーケストラがのり、その前でソリストが歌を歌うような形式の公演を行う場合があり、このような公演の形態を演奏会形式による公演という。オペラ全曲が通して演奏されることもあるが、多くは特に有名なアリアなどを抜粋して演奏する。ガラコンサートにおいて比較的良く見かける形態であるほか、オーケストラの定期演奏会の演目として取り上げられるこ



とも有る。

ガラ・コンサート

何かを記念して行われる特別企画の音楽会で、「ガラ・コンサート」(gala concert) という名称を



日本語に置き換えるとすれば、「特別公演」「記念演奏会」「祝賀音楽会」となる。“gala”は祝祭を意味し、年末年始(例えば年始であれば「新年ガラコンサート」と銘打って行われる)や、文字通り主な祝祭に合わせて行われることが多い。一例としては、ソリストの演奏を中心に組み立てられ、交響曲などのソロ部分やオペラやオペレッタのアリアを演奏する、広く知られた楽曲の一部の楽章だけ、といった通常の演奏会の構成・形式とは大きく異なる内容となっている。

演奏会の構成例

オーケストラの演奏会

オーケストラの演奏会の場合

1. 序曲など短めの曲
2. 協奏曲、小規模な交響曲、中規模の管弦楽曲
3. 休憩
4. 交響曲、大規模な管弦楽曲などメインの曲
5. ※4 がとくに重厚かつ長大な場合は、2 または 1、さらには 1・2 なしでマーラーの交響曲など一曲だけの4 だけということがある。
6. ※1 の序曲を演奏しないで、リゲティなどの現代音楽など あまり一般的ではない曲(委嘱作品や初演作品等も)を最初に挿入する方法がある。それを聴衆が嫌って遅れて入ってくる場合は意図的に順序を逆にして協奏曲の後などに入れる場合もある。
7. クラシックにあまり詳しくない人向けに、上記の構成を採らず短めの曲(小品)を集めたものをプロムナードコンサート(略称プロムス)と呼ぶ。
8. ※こうした構成で演奏される演奏会は、通例、司会進行役は無く、奏者の入場・ソリスト等の入場・指揮者の入場、演奏開始、といった流れになり、開演中にアナウンスなどが流れる事は無い。指揮者がアンコール曲の作曲者と曲名を言うことはある。ただし、ホールによっては開演前に注意喚起(携帯電話の電源断や時計のアラーム機能のオフの要請など。携帯電話に関しては、電波を遮断する機器を設置しているホールでは その旨の周知が行われることがある。)のアナウンス等が流れることはある。また、プロムナードコンサートや初心者向けコンサートなどは、曲紹介や聴くためのポイント、豆知識などを司会者などが解説する場合がある。

音楽祭(おんがくさい)

音楽祭とは、一定の期間に特定の地域もしくは会場で集中的に、複数の出演者によるオペラやコン

サートなどを行う一連の音楽行事である。大規模なものでは数日かかりで開催したり、複数の会場で演奏を同時進行させたりする。



クラシック音楽の音楽祭

伝統ある音楽祭としてはザルツブルク音楽祭（Salzburger Festspiele）やバイロイト音楽祭（Richard-Wagner-Festspiele）が有名だが、いずれも原語では音楽を意味する言葉はなく、単に「祝祭上演」（Festspiele）という意味である。また同じ意味で「ベルリン芸術週間」「国際モーツァルト週間」といった名称も使われ、総じてヨーロッパでは伝統ある「音楽祭」ほど、改めて「音楽」という言葉を入れない傾向にある。日本では「地名＋音楽祭」として表記することが行われてきたため、一般の人にとってはわかりやすいが、原語との表記のギャップが生まれる結果となった。

ロック・フェスティバル（英: rock festival）



野外ロックフェスティバルの様子

ロック・フェスティバルとは、ポピュラー音楽を扱う音楽祭の中でもロックに特化したものである。俗にロックフェス（rock fes.）と略され、さらに縮めてフェス（fes.）と呼ばれる事もある。

しかし日本のロック・フェスティバルでは、時代とともにロックに限らずポピュラー音楽全般へと対象ジャンルを広げていった事例や、初

●開催される時期・季節によって春フェス、夏フェス、秋フェス、冬フェスと称される。

めからロック以外のジャンルも扱っている場合も多く、ポピュラー音楽を扱う他の音楽祭との境目が曖昧になりつつある。このためロックバンド以外のアーティストが多数出演していても、ジャズ・レゲエ・アニメソングなど「ロック以外の特定のジャンル」に特化していない限り、総称的な意味合いでロック・フェスティバルと呼ばれるケースが少なくない。